

1. 越谷市環境管理計画

越谷市環境管理計画

(2021～2030年度)



✓市の望ましい環境像
「みんなで創ろう
越谷の豊かな環境と未来」

を実現するため、

6の基本目標
26の取組の方向性
61の施策分類
307の実施策

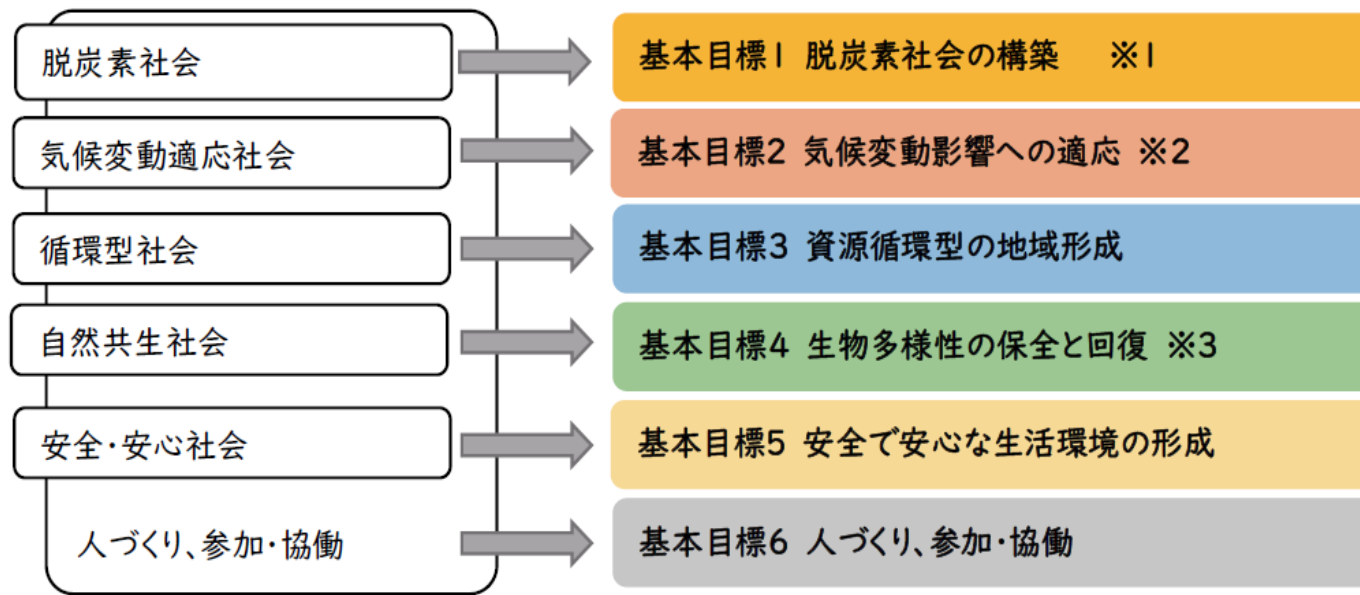
を設定。

✓さらに、SDGsの3側面(環境・社会・経済)の統合的かつ象徴的な取組として「推進プロジェクト」を設定。

✓計画期間は、
令和3年度(2021年度)から
令和12年度(2030年度)まで

基本目標

環境施策の展開方向【基本目標】



- ※1 基本目標1は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成28年法律第50号）第21条第3項に基づく「越谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」として位置付けます。
- ※2 基本目標2は、気候変動適応法（平成30年法律第50号）第7条第2項に基づく「越谷市気候変動適応計画」として位置付けます。
- ※3 基本目標4は、「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」に基づく「生物多様性こしがやアクションプラン」として位置付けます。

図 6つの基本目標と環境施策の連動イメージ図

環境指標・取組指標の評価基準

本計画の進行管理は、「環境指標」と「取組指標」の2種類の指標に基づき評価する。

目標達成	令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの目標達成
A	目標達成に向け順調に実施中（目安：進捗50%以上）
B	目標達成には一層の努力が必要（目安：進捗50%未満）
C	実績値が現況値と同じ、実施したが現況値より後退等
実施なし	未実施、未着手等

※取組指標の進捗状況を総合的に評価している環境指標については、取組指標の進捗率の平均をもって評価に代える。

※進捗は、原則「 $(\text{実績値} - \text{現況値}) / (\text{目標値} - \text{現況値})$ 」で算出し、現況値の維持を目標とする指標や現況値が存在しない場合は「 $\text{実績値} / \text{目標値}$ 」で算出する。

基本目標1 脱炭素社会の構築

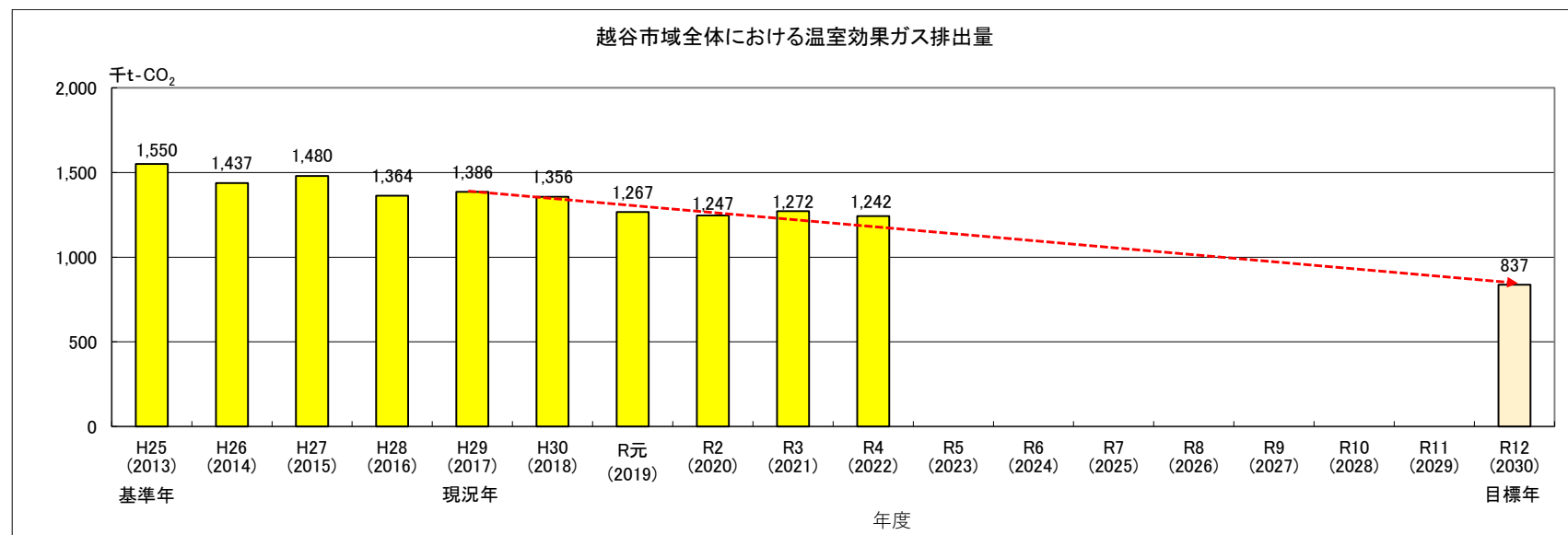
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



温室効果ガスの大幅削減を実現します。そのため、行政は他の関係者と協働し、緊急時のエネルギー確保の仕組みや、エネルギー効率を高めた都市基盤の整備を進めます。市民や事業者は温室効果ガスを排出しない生活や事業活動を心がけ、行動します。

環境指標

指標名	市域からの温室効果ガス排出量（総振）						
	市域からの温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素（CO ₂ ）とメタン（CH ₄ ）、一酸化二窒素（N ₂ O）の排出量【年間】						
現状値 令和元年度 （2019）	実績値					目標値 令和12年度 （2030）	評価
	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		
2013年度比 10.6%減 （平成29年）	2013年度比 18.3%減 （令和元年）	2013年度比 19.6%減 （令和2年）	2013年度比 18.0%減 （令和3年）	2013年度比 19.8%減 （令和4年）	-	2013年度比 46%減	B



基本目標1 脱炭素社会の構築

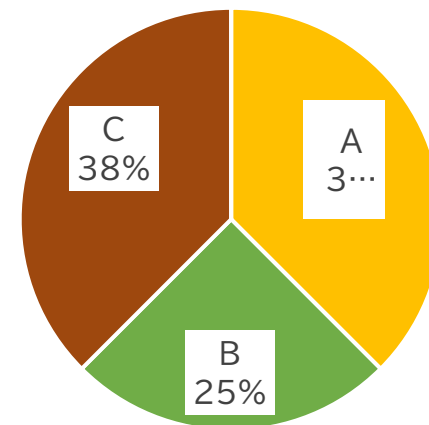
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



温室効果ガスの大幅削減を実現します。そのため、行政は他の関係者と協働し、緊急時のエネルギー確保の仕組みや、エネルギー効率を高めた都市基盤の整備を進めます。市民や事業者は温室効果ガスを排出しない生活や事業活動を心がけ、行動します。

取組指標

指標項目		単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)	進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標1 脱炭素社会の構築							
1-1	地球温暖化・COOL CHOICE普及取組年間参加者数（市民・事業者）	人	146	500	473	69%	A
1-2	建築物省エネ法に基づく届出等件数（総振）	件	211	980	541	43%	B
1-3	市の事業・支援による太陽光発電設備の発電容量（総振）	kW	7,423	11,000	9,978	71%	A
1-4	市の事業・支援による蓄電池の蓄電容量（EV含む）	kWh	621.5	6,700	5,484	80%	A
1-5	持続性の高い緑地面積	ha	1,420	1,445	1,398	0%	C
1-6	乗合交通利用圏域のカバー率（総振）	%	70.5	R7 (2025) 76.5	70	0%	C
1-7	リサイクル率（総振）	%	17.7	25	17.5	0%	C
1-8	革新的な取組の反映件数	件	—	5	1	20%	B



目標達成	A	B	C	実施なし	合計
0	3	2	3	0	8

基本目標2 気候変動影響への適応

取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



気候変動の影響に対し、命や財産を守ります。そのため、行政は他の関係者と協働し、気候変動によるリスクや影響を最小限にするための先手を打った対策を進めます。市民や事業者は、気候変動による影響への正しい理解を深め、適切に行動します。

■環境指標

取組指標の目標値に対する進捗率は、平均で約71%となっています。

「2-4まるごとまちごとハザードマップ設置実施率」等は順調に推移している一方で、「2-5市の事業・支援による雨水貯留施設貯留量」等は進捗に課題があります。

指標項目		進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標2 気候変動影響への適応			
2-1	気候変動適応に関する市民への情報発信回数	100%	A
2-2	気候変動適応に関する庁内連携の取組件数	100%	A
2-3	猛暑日日数当たりの熱中症搬送数	100%	A
2-4	まるごとまちごとハザードマップ設置実施率（総振）	100%	A
2-5	市の事業・支援による雨水貯留施設貯留量	6%	B
2-6	気候変動適応に関する事業者への情報提供・支援などの取組件数	20%	B

基本目標2 気候変動影響への適応

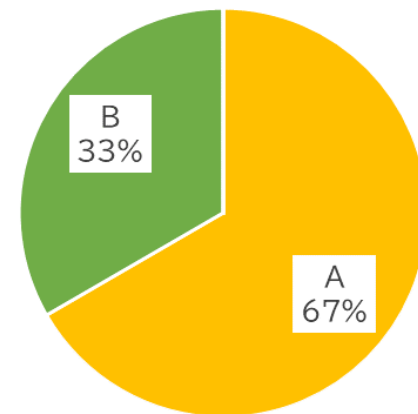
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



気候変動の影響に対し、命や財産を守ります。そのため、行政は他の関係者と協働し、気候変動によるリスクや影響を最小限にするための先手を打った対策を進めます。市民や事業者は、気候変動による影響への正しい理解を深め、適切に行動します。

取組指標

指標項目	単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)	進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標2 気候変動影響への適応						
2-1 気候変動適応に関する市民への情報発信回数	回	—	3	10	100%	A
2-2 気候変動適応に関する庁内連携の取組件数	件	—	5	5	100%	A
2-3 猛暑日数当たりの熱中症搬送数	人/日	9.16	9.0	6.3	100%	A
2-4 まるごとまちごとハザードマップ設置実施率（総振）	%	—	R7 (2025) 100	100	100%	A
2-5 市の事業・支援による雨水貯留施設貯留量	m3	5,310	5,440	5,318	6%	B
2-6 気候変動適応に関する事業者への情報提供・支援などの取組件数	件	—	10	2	20%	B



目標達成	A	B	C	実施なし	合計
0	4	2	0	0	6

基本目標3 資源循環型の地域形成

取組が貢献する
SDGs の該当ゴール

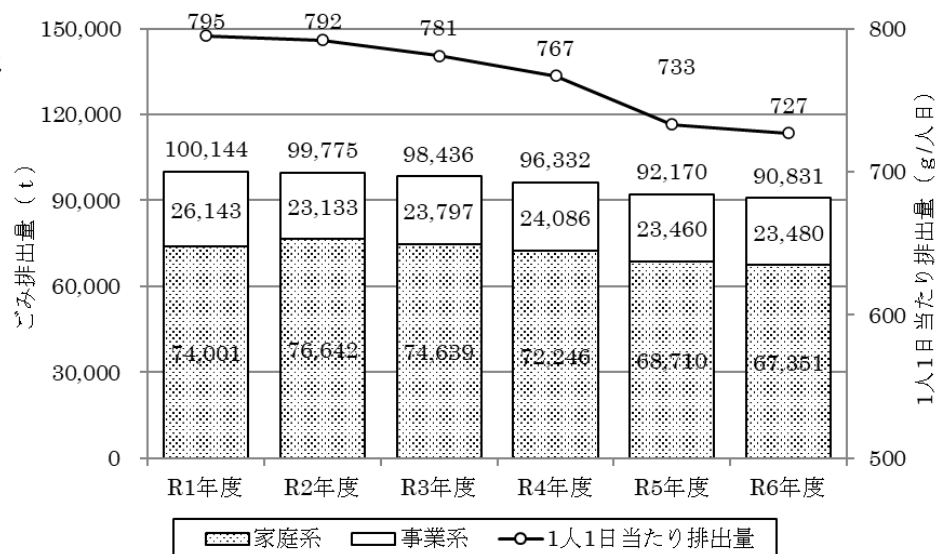


資源が適切に循環する社会を構築します。そのため、行政は他の関係者と協働し、ごみの適正処理の推進や地域内での資源循環を進めます。市民や事業者は、資源を大切に生活や事業活動を心がけ、行動します。

環境指標

指標名	1人1日当たりごみ排出量（総振） 市民1人1日当たりが排出するごみの量【年間】						
	実績値					目標値 令和12年度 （2030）	評価
現状値 令和元年度 （2019）	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		
795 g/人・日	781 g/人・日	767 g/人・日	733 g/人・日	727 g/人・日	-	690 g/人・日	A

【参考】ごみ排出量の推移



基本目標3 資源循環型の地域形成

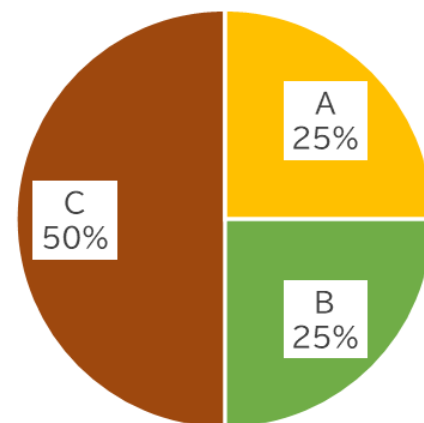
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



資源が適切に循環する社会を構築します。そのため、行政は他の関係者と協働し、ごみの適正処理の推進や地域内での資源循環を進めます。市民や事業者は、資源を大切に生活や事業活動を心がけ、行動します。

取組指標

指標項目	単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)	進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標3 資源循環型の地域形成						
3-1 リサイクル率（総振） 【再掲】	%	17.7	25	17.5	0%	C
3-2 家庭から排出される食品 ロス量	t/年	8,047	6,000	7,267	38%	B
3-3 集団資源回収実施団体登 録件数	団体	464	500	410	0%	C
3-4 事業系ごみ排出量	t	26,143	21,000	23,480	52%	A
3-5 排出事業者及び収集運搬 許可業者を対象とした説 明会実施回数	回	1	2	1	0%	C
3-6 ふれあい収集の登録件数 （総振）	件	472	800	666	59%	A
3-7 電子マニフェスト普及率 （総振）	%	76	90	78	14%	B
3-8 地場農産物の学校給食使 用品目数	品目	12	12	10	0%	C



目標 達成	A	B	C	実施 なし	合計
0	2	2	4	0	8

基本目標4 生物多様性の保全と回復

取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



多くの動植物が生息する環境を保全し、生物多様性を回復します。そのため、行政は他の関係者と連携し、農地・屋敷林などの緑や河川などの動植物の生息・生育地を保全し、生物多様性の回復を進めます。市民や事業者は、地域の自然への関心を高め、重要性を認識します。

■環境指標

取組指標の目標値に対する進捗率は、平均で約51%となっています。

「4-4合併処理浄化槽普及率」等は順調に推移している一方で、「4-3生物の生息・生育に配慮した区域の面積」等は進捗に課題があります。

指標項目		進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標4 生物多様性の保全と回復			
4-1	希少植物の栽培・補植活動実施面積	42%	B
4-2	保存・樹林・樹木地区の指定箇所数（総振）	0%	C
4-3	生物の生息・生育に配慮した区域の面積（総振）	0%	C
4-4	合併処理浄化槽普及率（総振）	62%	A
4-5	排水基準適合率（総振）	100%	A
4-6	農地利用集積地域数（総振）	50%	A
4-7	生物多様性子ども調査実施学校数	100%	A

基本目標4 生物多様性の保全と回復

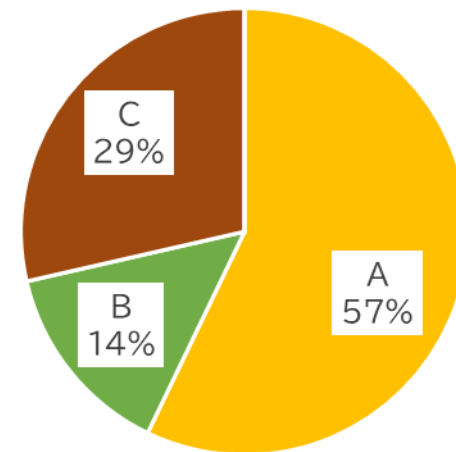
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



多くの動植物が生息する環境を保全し、生物多様性を回復します。そのため、行政は他の関係者と連携し、農地・屋敷林などの緑や河川などの動植物の生息・生育地を保全し、生物多様性の回復を進めます。市民や事業者は、地域の自然への関心を高め、重要性を認識します。

■ 取組指標

指標項目	単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)	進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標4 生物多様性の保全と回復						
4-1 希少植物の栽培・補植活動実施面積	m2	109	135	120	42%	B
4-2 保存・樹林・樹木地区の指定箇所数（総振）	か所	—	R7 (2025) 10	0	0%	C
4-3 生物の生息・生育に配慮した区域の面積（総振）	ha	32.4	34	32.4	0%	C
4-4 合併処理浄化槽普及率（総振）	%	36	50	45	62%	A
4-5 排水基準適合率（総振）	%	100	R7 (2025) 100	100	100%	A
4-6 農地利用集積地域数（総振）	地域	4	6	5	50%	A
4-7 生物多様性子ども調査実施学校数	校	30	30	30	100%	A



目標達成	A	B	C	実施なし	合計
0	4	1	2	0	7

基本目標5 安全で安心な生活環境の形成

取組が貢献する
SDGsの該当ゴール



私たちを取り巻く生活環境を適切に保全します。そのため、行政は他の関係者と協働し、測定・監視・指導などを行い、安全で安心な生活環境の形成を進めます。市民や事業者は、暮らしや産業活動によって生活環境を汚染しないよう心がけ、行動します。

■環境指標

取組指標の目標値に対する進捗率は、平均で約61%となっています。

「5-6「こしがや景観資源」の登録件数」等は順調に推移している一方で、「5-3人口1000人あたりの騒音による苦情件数」等は進捗に課題があります。

指標項目		進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標5 安全で安心な生活環境の形成			
5-1	排水基準適合率（総振） 【再掲】	100%	A
5-2	合併処理浄化槽普及率 （総振）【再掲】	62%	A
5-3	人口1000人あたりの騒音 による苦情件数（SDGs ローカル指標）	0%	C
5-4	空間放射線量・給食放射 性物質の目標達成率	100%	A
5-5	人口1000人あたりの悪臭 による苦情件数（SDGs ローカル指標）	0%	C
5-6	「こしがや景観資源」の 登録件数（総振）（累 計）	100%	目標達成
5-7	景観の満足度（総振）	73%	A
5-8	自治会清掃回収件数	0%	C
5-9	市の事業・支援による蓄 電池の蓄電容量（EV含 む）【再掲】	80%	A
5-10	多面的機能に関する情報 発信件数	100%	A

基本目標5 安全で安心な生活環境の形成

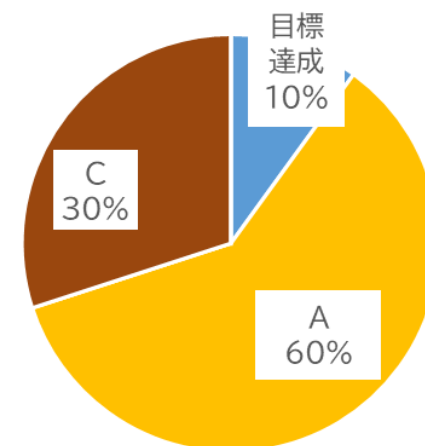
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



私たちを取り巻く生活環境を適切に保全します。そのため、行政は他の関係者と協働し、測定・監視・指導などを行い、安全で安心な生活環境の形成を進めます。市民や事業者は、暮らしや産業活動によって生活環境を汚染しないよう心がけ、行動します。

■取組指標

指標項目		単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)	進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標5 安全で安心な生活環境の形成							
5-1	排水基準適合率（総振） 【再掲】	%	100	R7 (2025) 100	100	100%	A
5-2	合併処理浄化槽普及率 （総振）【再掲】	%	36	50	45	62%	A
5-3	人口1000人あたりの騒音 による苦情件数（SDGs ローカル指標）	人	0.15	0.15	0.32	0%	C
5-4	空間放射線量・給食放射 性物質の目標達成率	%	100	100	100	100%	A
5-5	人口1000人あたりの悪臭 による苦情件数（SDGs ローカル指標）	人	0.06	0.06	0.07	0%	C
5-6	「こしがや景観資源」の 登録件数（総振）（累 計）	件	65	R7 (2025) 240	271	100%	目標達成
5-7	景観の満足度（総振）	%	66.7	R7 (2025) 70	69.1	73%	A
5-8	自治会清掃回収件数	件	372	400	323	0%	C
5-9	市の事業・支援による蓄 電池の蓄電容量（EV含 む）【再掲】	kWh	621.5	6,700	5,484	80%	A
5-10	多面的機能に関する情報 発信件数	件	4	6	14	100%	A



目標達成	A	B	C	実施なし	合計
1	6	0	3	0	10

基本目標6 人づくり、参加・協働

取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



市内の全ての関係者の参加と協働を促し、一丸となって取り組みます。そのため、行政は他の関係者が行政事業に積極的に参加・協働できる場・仕組み作りを進めます。市民や事業者は環境や SDGs に対する正しい理解を深め、行政事業に積極的に参加・協働します。

■環境指標

取組指標の目標値に対する進捗率は、平均で約57%となっています。

「6-2環境・SDGsに関する取組件数」等は順調に推移している一方で、「6-3環境・SDGsイベント参加者数」等は進捗に課題があります。

指標項目		進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標6 人づくり、参加・協働			
6-1	環境・SDGs学習の実施校数	100%	A
6-2	環境・SDGsに関する取組件数（総振）	83%	A
6-3	環境・SDGsイベント参加者数	0%	C
6-4	市民・事業者によるSDGs宣言世帯数・事業所数（総振）	20%	B
6-5	連携取組における発表事例数	50%	A
6-6	市民のエシカル消費に向けた関連施策の実施件数	88%	A

基本目標6 人づくり、参加・協働

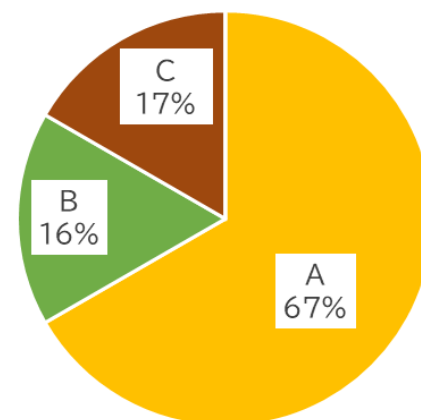
取組が貢献する
SDGs の該当ゴール



市内の全ての関係者の参加と協働を促し、一丸となって取り組みます。そのため、行政は他の関係者が行政事業に積極的に参加・協働できる場・仕組み作りを進めます。市民や事業者は環境や SDGs に対する正しい理解を深め、行政事業に積極的に参加・協働します。

■取組指標

指標項目		単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)	進捗 R6 (2024)	評価 R6 (2024)
基本目標6 人づくり、参加・協働							
6-1	環境・SDGs学習の実施校数	校	45	45	45	100%	A
6-2	環境・SDGsに関する取組件数（総振）	件	24	R7 (2025) 30	29	83%	A
6-3	環境・SDGsイベント参加者数	人	5,232	10,000	4,783	0%	C
6-4	市民・事業者によるSDGs宣言世帯数・事業所数（総振）	件	—	R7 (2025) 1,000	202	20%	B
6-5	連携取組における発表事例数	事例/年	—	10	5	50%	A
6-6	市民のエシカル消費に向けた関連施策の実施件数	件	2	10	9	88%	A

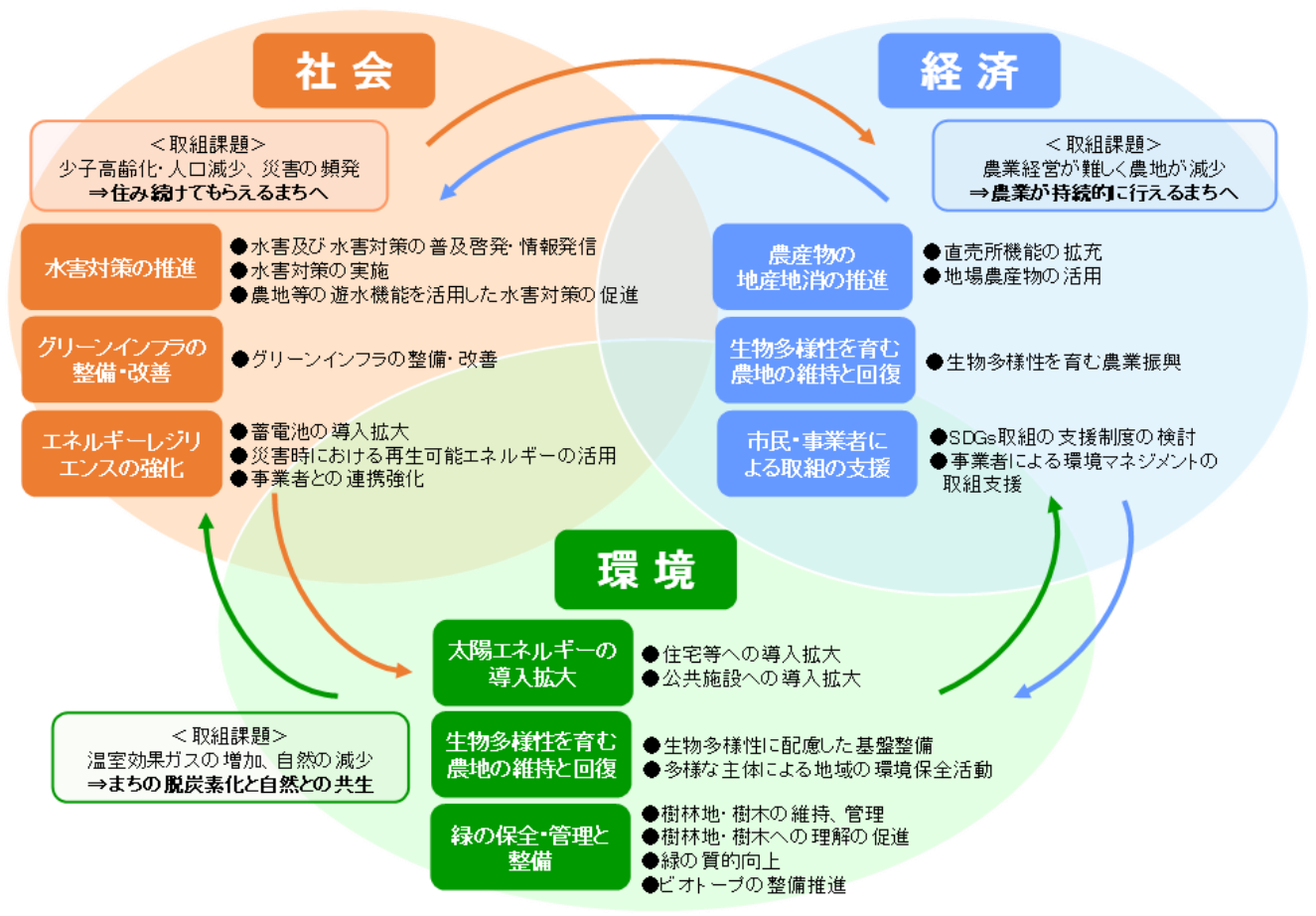


目標達成	A	B	C	実施なし	合計
0	4	1	1	0	6

SDGsの3側面（環境・社会・経済）の統合的かつ象徴的な取組 推進プロジェクト

プロジェクトの分野 「気候変動」 × 「防災」 × 「エネルギー」

みんなが創る 越谷の自然環境を活かした気候変動に強いまちづくり



推進プロジェクト① 環境面の取組

取組課題

温室効果ガスの増加、自然の減少
⇒まちの脱炭素化と自然との共生

太陽エネルギーの
導入拡大

- 住宅等への導入拡大
- 公共施設への導入拡大

生物多様性を育む
農地の維持と回復

- 生物多様性に配慮した
基盤整備
- 多様な主体による地域
の環境保全活動

緑の保全・管理と
整備

- 樹林地・樹木の維持、管理
- 樹林地・樹木への理解の促進
- 緑の質的向上
- ビオトープの整備推進

進捗管理指標

指標項目	現況値 令和元年度 (2019)	目標値 令和12年度 (2030)	実績値 令和6年度 (2024)	進捗 令和6年度 (2024)
市の事業・支援による 太陽光発電設備の発電容量	7,423 kW	11,000 kW	9,978 kW	71%
生物の生息・生育に配慮した 区域の面積	32.4ha	34ha	32.4ha	0%

推進プロジェクト② 社会面の取組

取組課題

少子高齢化・人口減少、災害の頻発
⇒住み続けてもらえるまちへ

水害対策の推進

- 水害及び水害対策の普及啓発・情報発信
- 水害対策の実施
- 農地等の遊水機能を活用した水害対策の促進

グリーンインフラの整備・改善

- グリーンインフラの整備・改善

エネルギーレジリエンスの強化

- 蓄電池の導入拡大
- 災害時における再生可能エネルギーの活用
- 事業者との連携強化

進捗管理指標

指標項目	現況値 令和元年度 (2019)	目標値 令和12年度 (2030)	実績値 令和6年度 (2024)	進捗 令和6年度 (2024)
まるごとまちごとハザードマップ 設置実施率	-	令和7年度 (2025) 100%	100%	100%
市の事業・支援による蓄電池の 蓄電容量（EV含む）	621.5 kWh	6,700 kWh	5,484 kWh	80%

推進プロジェクト③ 経済面の取組

取組課題

農業経営が難しく農地が減少
⇒農業が持続的に行えるまちへ

農産物の
地産地消の推進

- 直売所機能の拡充
- 地場農産物の活用

生物多様性を育む
農地の維持と回復

- 生物多様性を育む
農業振興

市民・事業者による
取組の支援

- SDGs取組の支援制度の検討
- 事業者による環境マネジメントの取組支援

進捗管理指標

指標項目	現況値 令和元年度 (2019)	目標値 令和12年度 (2030)	実績値 令和6年度 (2024)	進捗 令和6年度 (2024)
地場農産物の 学校給食使用品目数	12品目	12品目	10品目	0%
市民・事業者によるSDGs宣言世帯数・事業所数	-	令和7年度 (2025) 1,000件	202件	20%

令和6年度 越谷市環境審議会からの意見（抜粋）と市の対応について

意見	環境指標に係る評価方法について、客観性の観点も踏まえ、一定の基準で実施することを検討いただきたい。
対応等	従来の評価基準に加え、取組指標の進捗率を勘案して実施してまいります。
意見	令和7年度に実施する環境管理計画の中間見直しは、全面改訂ではなく、実態に即した指標の見直しとともに、評価基準の整理を検討していただきたい。
対応等	ご意見を踏まえながら、具体的目標と環境施策等を中心に中間見直しを実施してまいります。
意見	熱中症対策については、他の事例を参考に取組を検討していただきたい。
対応等	他の取組事例について関係各課と情報共有を図るとともに、連携しながら取組を検討してまいります。

令和6年度 越谷市環境審議会からの意見（抜粋）と市の対応について

意見	「クビアカツヤカミキリ」の繁殖を抑制させるためには、市民理解の促進が必要であることから、防除対策に関する周知・啓発や協力体制の構築を検討していただきたい。
対応等	令和7年度は「広報こしがや」に掲載して周知するほか、過去に発見数の多かった地域で個体の捕殺を行う業務委託を新たに実施いたしました。今後についても、繁殖の抑制に向けて、関係機関と連携を図りながら対策を検討してまいります。

意見	希少植物の保護には、市民団体やNPO法人などの協力が重要である。現在、保護活動を行っている市民団体等の構成メンバーは高齢化が進行し、活動の継続性に課題があることから、「こしがやSDGsパートナー制度」の活用など対応策を検討していただきたい。
対応等	令和7年度から「こしがやSDGsパートナー」に、市が実施する環境保全活動への協力について案内を行っております。今後についても、希少植物の保護活動等が継続的に実施できるよう対応策を検討してまいります。